

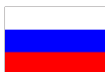
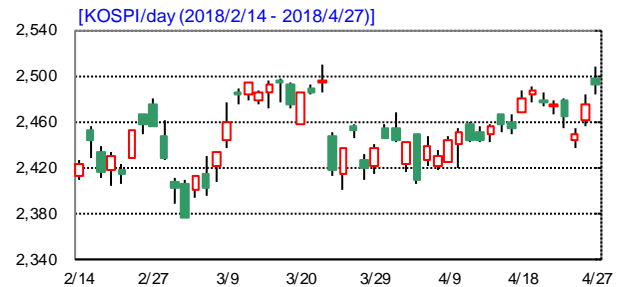


## 【韓国】 総合指数は週間で0.6%高と3週続伸、朝鮮半島情勢の安定化期待が支え

### 先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で0.6%高と3週続伸。主要企業の決算発表を控え週明け23日に小動きで取引をスタートすると、25日まで4営業日続落した。半導体大手SKハイニックスの2018年1-3月決算の予想下振れを受けてスマホ需要の減速が警戒され、ハイテク銘柄に売りが膨らんだ。米長期金利の上昇も重荷。一方、週後半の26-27日は堅調に推移した。増益決算を発表したサムソン電子が買われ、相場をけん引。南北首脳会談が行われた27日は一時、3月22日以来約1カ月ぶりに取引時間中に2500ポイントを上回った。終値も3月22日以来の高値を更新。朝鮮半島情勢の安定化に対する期待が買いを誘った。今週はスマホの需要鈍化が警戒される中、節目の2500ポイントを試す展開か。経済指標は貿易、消費統計が発表される。

### ▼指数チャート



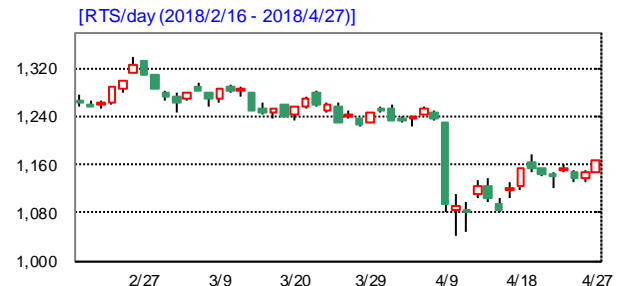
## 【ロシア】 RTS 指数は1.6%高と続伸、今週は西側諸国との関係悪化で上値重い

か

### 先週の動き／今週の展望

RTS 株価指数は週間で1.6%高と続伸。原油相場がおおむね堅調に推移する中、中央銀行が政策金利を据え置いたことで通貨ルーブルが上昇し、株価を支えた。西側諸国との関係悪化が引き続き懸念され、週初からもみ合う展開で、25日は欧米株の下落も重しとなった。ただ、27日には一部のアナリストが利下げを予想する中、中央銀行が主要政策金利を7.25%に据え置いたことでルーブルが上昇し、指数も前日比1.8%高と上昇した。翌週の連休の振り替えて取引が行われた28日は小幅に反落したものの、週間で1.6%高。2週間では5.4%高となり、年初来で0.8%高とプラス圏に入った。今週は西側諸国との関係悪化懸念を背景に上値の重い展開か。4月30日-5月2日は祝日のため休場で、取引は3-4日の2日間のみ。

### ▼指数チャート

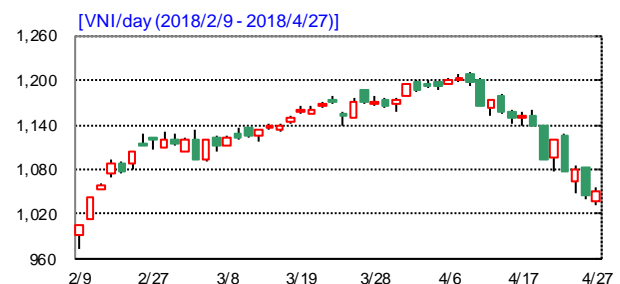


## 【ベトナム】 VN 指数は週間で6.2%安と大幅に3週続落、今週は調整一服に期待

### 先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で6.2%安と大幅に3週続落。高値警戒感によるスピード調整が続いたほか、米国の金利上昇・ドル高による資金流出懸念も重しとなった。前週までの2週間で6.7%安となったVN指数は週明け23日も3.8%安と大幅安でスタート。年初から4月6日までの上昇率が20%を超えた反動が続いた。フンフォン記念日で休場となった25日の翌26日はドル高を背景に外国人投資家の資金引き揚げ懸念を受けて指数が3.3%安となり、2月12日以来の水準まで下落した。27日は小幅に反発したが、4月10日の史上最高値に比べると13.3%安。年初来では6.7%高となった。今週は足元の大幅下落を受けて調整一服感が強まることが期待されるものの、ドル高を背景とした資金流出懸念が引き続き重しとなりそうだ。

### ▼指数チャート

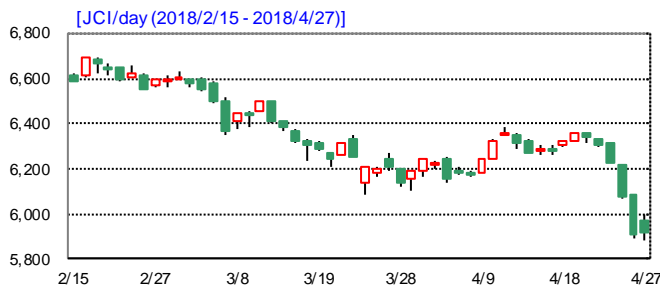


## 【インドネシア】

**【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 6.6%安、ルピア安進行で大幅下落**

ジャカルタ総合指数は週間で 6.6%安と 3 週ぶりに反落。4 月月間では 3.1%安。先週は国内の重要イベントが少ない中、前週末から続く米ドルに対するルピア安が指数を大きく押し下げた。23 日に続落すると、24 日はルピア安が一服したものの買い材料にならず前日比 1.2%安。同日には中央銀行のマルチワールドヨ総裁が大規模な国債買いと外貨売りを実施したことを明らかにしたが、25 日は前日比 2.4%安と、下げ幅を広げた。26 日は 2.8%安と終値で約 5 カ月ぶりに 6000 ポイントを割り込んだ一方、27 日は小幅に反発して引けた。今週は 2 日に 4 月の CPI が発表される予定。1 日はメーデーのため休場。

### ▼指数チャート

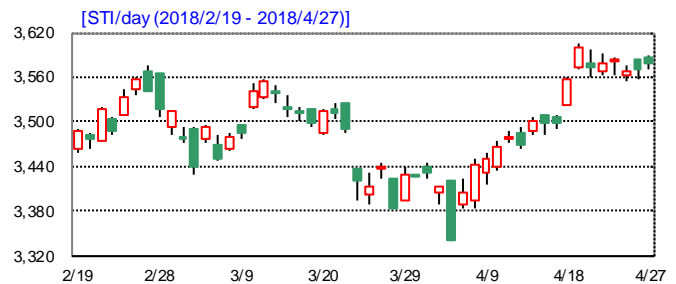


## 【シンガポール】

**【先週の動き／今週の展望】ストレーツタイムズ指数は 0.1%高、今週は 2 日に 4 月の製造業 PMI 発表**

ストレーツタイムズ指数は週間で 0.1%高と小幅ながら 5 週連続伸。4 月月間では 5.4%高。先週は、近隣諸国の指数が米長期金利の指標となる 10 年債の利回り上昇を受けて下落する中、ほぼ横ばいを維持した。23 日は、3 月の CPI 上昇率が前年同月比 0.2%と市場予想を下回ったものの影響は軽微で、指数はわずかに反発。24 日は株価が上場来高値を更新した銀行最大手 DBS グループが指数上昇をけん引した。25 日は 3 日ぶりに反落したが、26 日は 3 月の鉱工業生産が前年同月比 5.9%増と予想を上回ったことなどをを受けて反発。今週は 2 日に 4 月の製造業 PMI が発表される予定。1 日はメーデーのため休場となる。

### ▼指数チャート

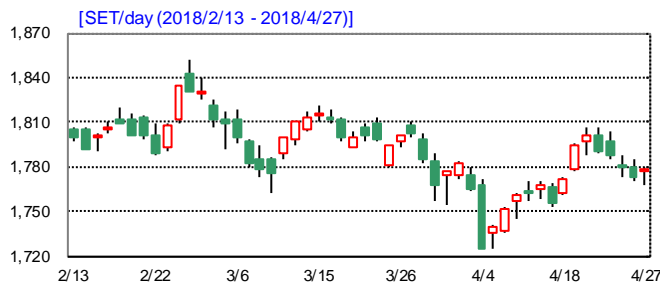


## 【タイ】

**【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 1.3%安、今週は 4 月の CPI 発表**

SET 指数は週間で 1.3%安と 3 週ぶりに反落。4 月月間では 0.2%高。先週は週末の反発を除き、軟調な値動きが続いた。週初の 23 日は、エネルギー株と金融株が売られて指数は終値で 4 営業日ぶりに反落。3 月の貿易収支（通関ベース）は黒字額が市場予想を大幅に上回ったが、買い材料にならなかった。その後も米 10 年債の利回り上昇を背景に売り優勢の展開が続き、26 日まで 4 日続落。ただ、27 日は長期金利の上昇が一服したことに加え、韓国と北朝鮮の首脳会談が実現したことも好感され、反発して引けた。今週は 1 日に発表される 4 月の CPI に対する市場の反応が焦点。同日は国民労働日のため休場となる。

### ▼指数チャート

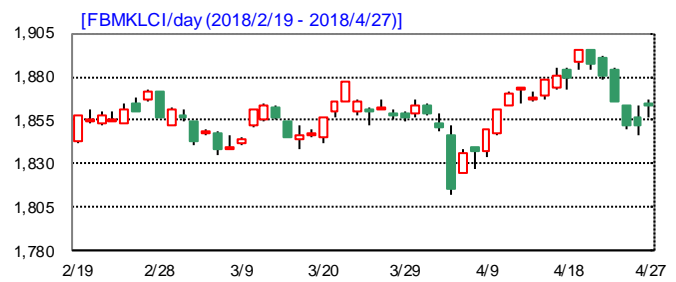


## 【マレーシア】

**【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 1.3%安、今週は 4 日の 3 月の貿易統計に期待**

クアラルンプール総合指数は週間で 1.3%安と 3 週ぶりに反落。4 月月間では 0.4%高。先週は前半の下落が響いた。週初の 23 日は、米 10 年債の利回りが 14 年 1 月以来の高水準に達したことで小型株を中心に売られ、続落してスタート。その後も買い材料に乏しく、25 日まで 4 営業日続落したが、26 日に下げ止まると、27 日は前日の NY ダウがハイテク主要企業の好決算を背景に大幅続伸した流れで買われた。今週は 4 日に 3 月の貿易統計が発表される予定で、前年同月比の輸出の伸びが 2 カ月ぶりにプラスを回復すれば好材料。下院議会総選挙を翌週に控えた市場の動向も注目される。1 日はメーデーのため休場。

### ▼指数チャート



本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。